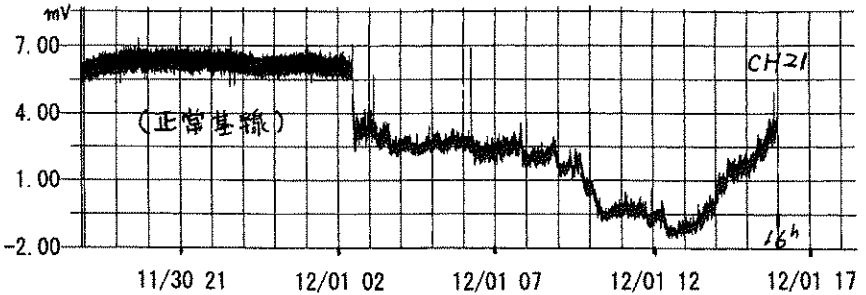


No.1778 長期継続特殊前兆現況報告 CH17特異継続+CH21に特異直前特異の場合→12月02日(誤差含めても4日迄) 対応地震発生の可能性有

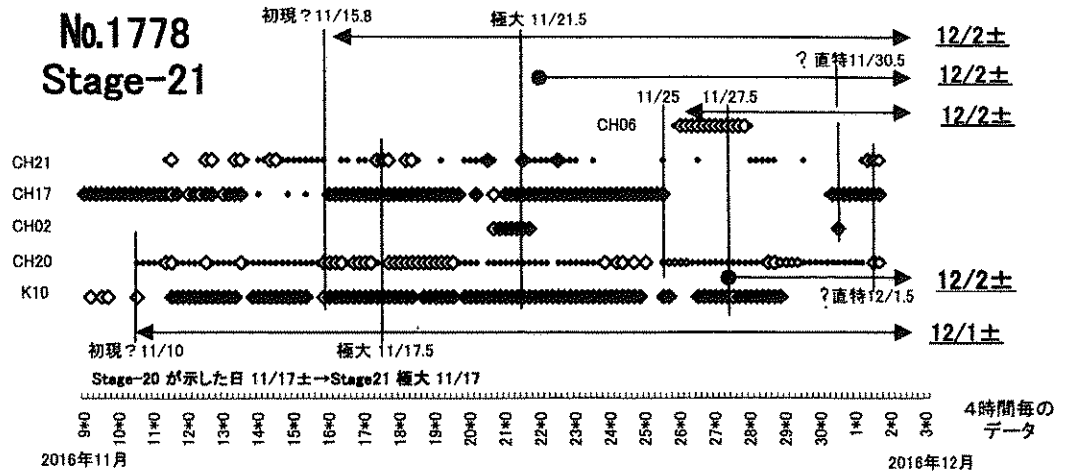
右波形はハヶ岳のCH21基線。11月23日以降、ほぼ静穏基線又は完全静穏基線を記録していたCH21に本日12月01日の午前02時30分頃より特異前兆が出現し、本日01日昼にピークを形成した様に見えます。右波形は本日夕刻16時迄のデータ。既に正常基線に向けて復帰中に見えます。



12/1.5ピーク中心が直前特異である場合は、11/27.5極大に対するものである可能性と考えますと12/2±を示します。

昨日11/30 報告のとおり、11/30未明からCH17に特異前兆が出現し、また11/30昼を中心にCH02にも糸状特異が出現致しました。11/30.5ピークを11/21.5極大に対する直前特異であると認識した場合には、12/2±を示すことは報告致しました。

No.1778 Stage-21



CH17特異が本日午前中に終息する可能性があることも記しましたが、本日未明から出現した前述のCH21特異ピークに対しても出現している可能性があり、まだ終息しておりません。本日昼ピークのCH21に対応して、殆ど静穏基線となってきたCH20にも特異状態が出現しています。

この本日昼のピークを、次の極大11/27.5の直前特異である可能性認識をしますと、やはり12/2±を示すことになります。

仮に本日12/1.5ピークを、第21ステージの最初の極大11/17.5に対応させても、次の11/21.5極大に対応させても12/4迄を示します。つまり、現在出現している再出現前兆を直前特異と認識

した場合には、12月02日が一番考え易く、12月04日迄の可能性が示唆されます。CH17は明日朝迄前兆が継続する可能性が示唆されます。直前特異の認識が事実と異なり都合良い解釈である場合は、明日以降もCH17特異が継続することになり、対応地震発生はまだ先となります。但し、昨日本日と2回出現したピークが直前特異である場合は、明日の12月02日(誤差を含めても12月04日迄)対応地震が発生する可能性が否定できません。

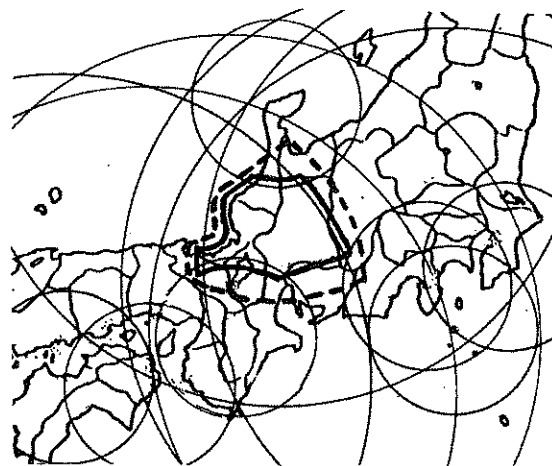
◆推定領域：右図点線領域内付近=大枠推定領域
太線領域内付近=可能性考え易い推定領域
※岐阜県～福井県(石川県南部と滋賀県北部含む)

◆推定規模：M7.8±0.5

◆推定時期：12月2日(誤差含め4日迄)
※但し、12月04日迄に対応地震発生なく、現在出現中の前兆が継続出現の場合は再考し続報。

◇推定地震種：震源深さ30km以浅の日本列島地殻地震

◇推定発生時刻：午前9時±1(又は午後6時±3)
(前震発生の場合は無効)



12月04日迄に対応地震発生がなく、現在継続中のCH17特異前兆が継続していた場合は、地震発生はまだ先となりますので、観測データを鑑み再考させて戴きます。

※解析間違いで地震推定内容が実際と異なる場合はお詫び申し上げます。